

## (別冊) 拾遺Ⅱ 2003年7月 (在庫なし)

---

まえがき／(特集) 継承を意図していたか? 戦後の足跡

《特別寄稿》

拓殖大学百年史研究の過程と将来について……………モロジャコフ・ワシーリー

《戦時の姿勢を敗戦後も怯まずに》

(聞き書き) 山西戦記・(後衛尖兵)の実態とその前後

—敗戦後の中国山西省における残留の経緯から—……………清水一路

◆解題① 構想と戦略

《米国による占領が終わり》

拓殖大学海外移住研究会、日本学生移住連盟の展開

—占領終了後の中南米雄飛—……………高橋順治郎・海老沢充  
桂会結成以後・中

南米雄飛のと今後の海外活動……………井川實

◆解題② 占領による断絶(自己否定)の法令等/公・教職追放に見る

《依存(占領)心理を脱却する路線》

海外高専・国際協力大学構想について

—西郷構想の展開/萬世太平を求めて—……………寺井久元

(座談会) 青年海外協力隊(JOCV)活動に参加した学友たち……………田村宏、高橋孝和、  
徳永達己、川村静夫、小林弘明

◆解題③ 構想と行為の間

《建学の思潮と気概を継承する》

(座談会) 日本人ムスリム学友の行き方……………濱田明夫、飯森嘉助、  
武藤英臣、徳増公明、新井卓夫

(聞き書き) あいすらんど共和国(愛するランド)を建国し大統領へ就任

—地域振興/地域社会の国際化の一環として—……………藤田孝太郎

◆解題④

営為の気脈/「念(おも)い」と「匂い」

《二一世紀を志向した新たな表現(創立百年を目途に)》

自己評価作業のまとめから新学部(国際開発学部)の創設まで……………増栄諭

◆解題⑤ 一九九〇年代における政策課題を実現した事例として

《西暦一九六〇年代の学生生活 余聞》

(聞き書き) 学寮生活/開設期の恒心寮……………能登谷教夫 (座談会)  
一九六〇年代初頭の学寮生活

—(初期の恒心寮) 一事例として—……………森啓、能登谷教夫、久木田樹

編集後記

『拓殖大学百年史研究』バックナンバー